

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は8月9日月報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「小中学校は夏休みに突入、牛乳類消費は依然低調～継続的な消費喚起、暑熱対策に留意を～」

- ・7/22週の牛乳類の販売個数は、前週(7/15週)と比較すると牛乳が増加した一方、成分調整牛乳、加工乳、乳飲料の3品目は減少した。全国の小中学校が夏休みに突入し、猛暑が続いているものの、家庭内消費は伸び悩んでいる。
- ・前年比では加工乳以外の3品目が下回り、牛乳類トータルでも前年割れとなった。牛乳は前週より減少幅を縮小させたものの6週連続で前年を下回っている。加工乳は低価格帯の商品を中心に好調を維持し、17週連続で前年超えとなった。
- ・はっ酵乳の販売個数は、3品目すべてのカテゴリーで前週より減少。5月ごろから、1週ごとに増加と減少を繰り返す一進一退の状況が続いている。前年との比較では、大容量タイプが上回ったもののドリンクタイプと個食タイプが下回り、トータルでも前年割れとなった。
- ・家庭用バターは、価格が横ばいで推移したものの販売個数は前週を下回り、前年比も4週ぶりに下回った。
- ・8月1日で、飲用等向け乳価の改定から1年が経過した。製品価格の値上げ時期から一巡することで、販売個数の前年比は上向くことが見込まれる一方、2年前、3年前の水準と比較すると消費は低調に推移する見通した。このため、引き続き牛乳類の需要拡大に向けた取り組みが求められる。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値): インタージェスRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(7/22週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 96.0%、成分調整牛乳: 84.7%、加工乳: 108.3%、乳飲料: 96.9%。

牛乳類トータルでは同95.6%

※参考: 2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は90.5%。

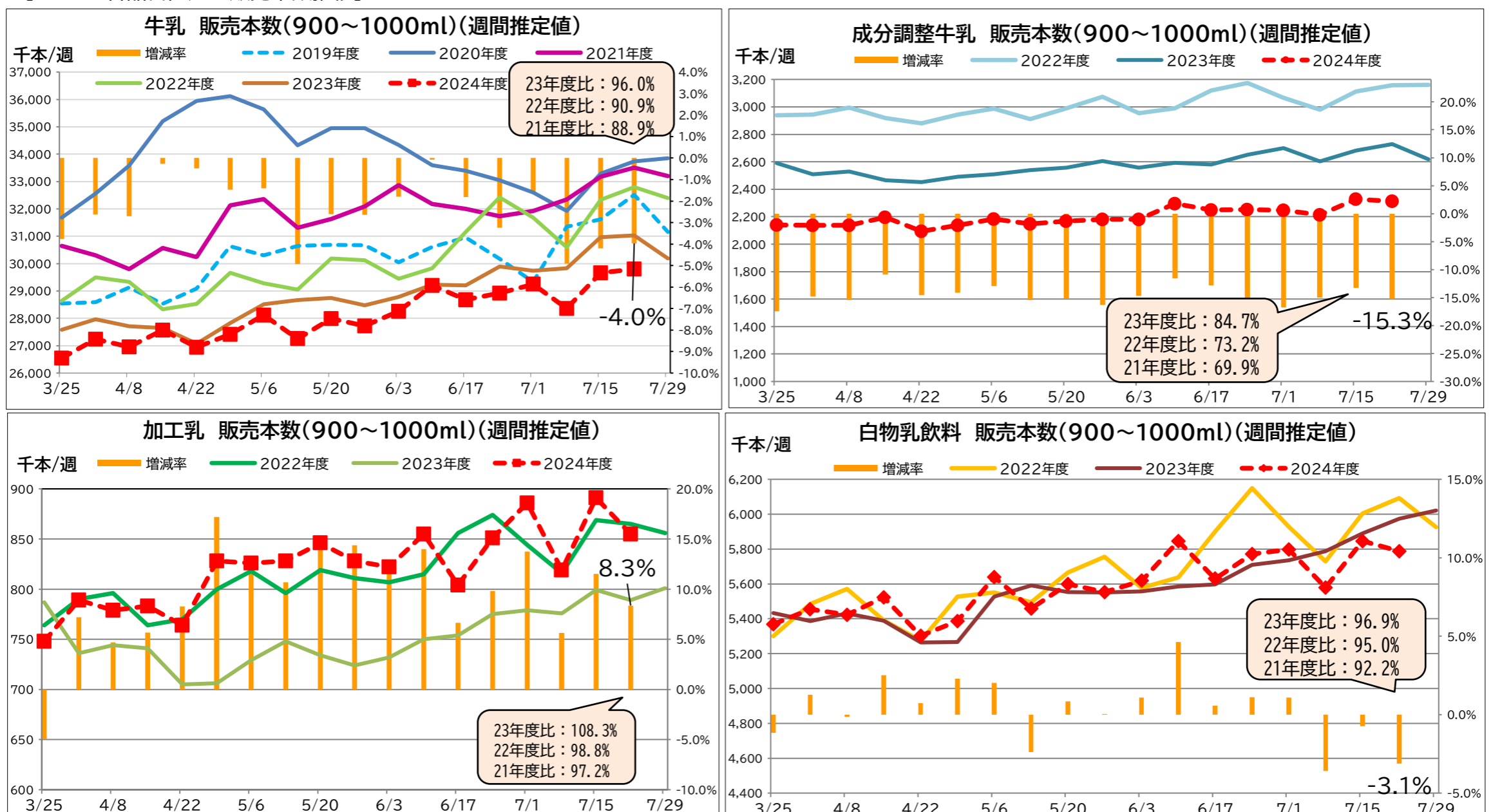
・販売単価は、牛乳: 225.3円、成分調整牛乳208.1円、加工乳: 219.9円、乳飲料: 173.0円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-	7.15-	7.22-	24.7.22- 22.10.24 価格差	24.7.22- 23.3.20 価格差	24.7.22- 23.7.24 価格差
		販売個数	36,880	38,202	37,360	37,801	38,178	36,975	38,724	38,752		
トータル	販売個数前年比	98.9	101.0	98.8	97.7	98.0	94.8	96.0	95.6	33.1	18.2	15.8
	販売単価	215.6	215.7	215.8	215.9	215.8	216.4	215.5	216.3			
牛乳	販売個数	28,260	29,207	28,676	28,926	29,247	28,363	29,659	29,798			
	販売個数前年比	98.9	100.7	98.9	97.5	98.3	95.1	95.8	96.0	35.0	18.7	17.5
成分調整牛乳	販売個数	2,181	2,294	2,249	2,252	2,247	2,214	2,327	2,312			
	販売個数前年比	85.6	88.7	87.4	85.1	83.3	85.0	86.8	84.7	34.4	19.5	14.9
加工乳	販売個数	822	855	804	851	886	819	891	855			
	販売個数前年比	114.6	117.0	109.1	112.6	113.7	105.6	111.5	108.3	29.0	18.7	8.1
乳飲料	販売個数	5,618	5,845	5,630	5,772	5,798	5,579	5,846	5,787			
	販売個数前年比	102.9	106.6	102.5	102.9	101.1	96.4	99.3	96.9	23.3	13.5	8.8
	販売単価	173.1	173.4	173.1	172.8	173.3	173.1	173.2	173.0			

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(7/22週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上(3品目合計前年同期比90%以上)。

(2)前週(7/15週)との比較では、3品目すべてのカテゴリーで減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

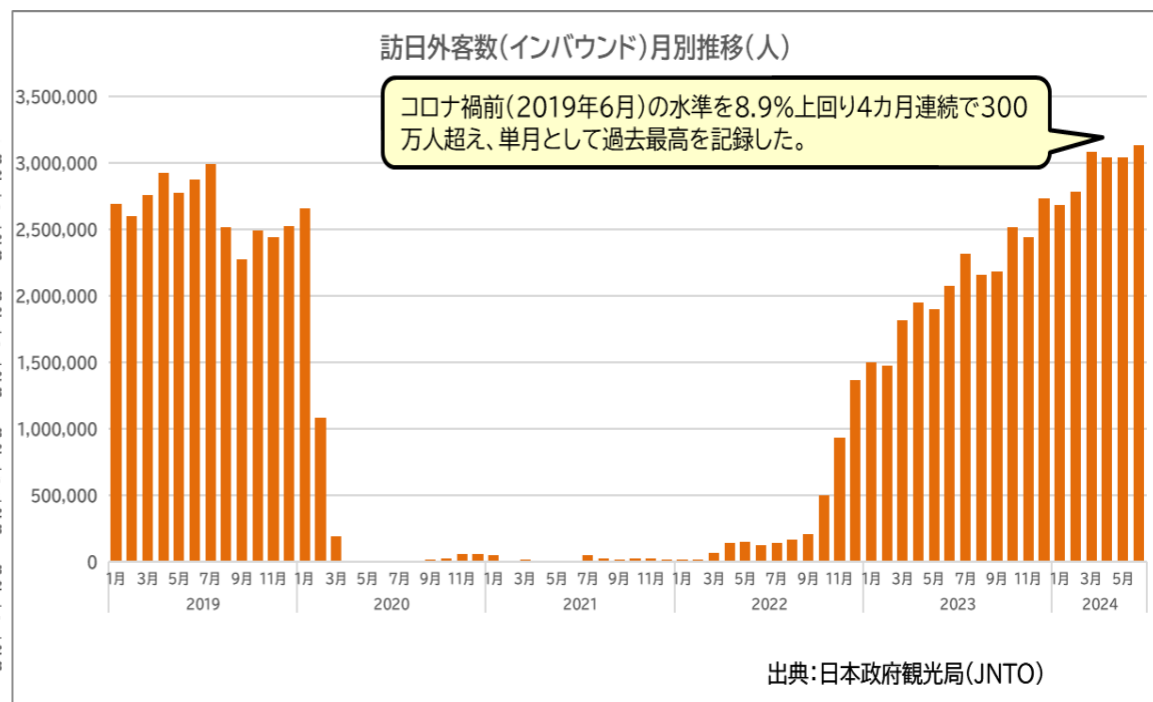
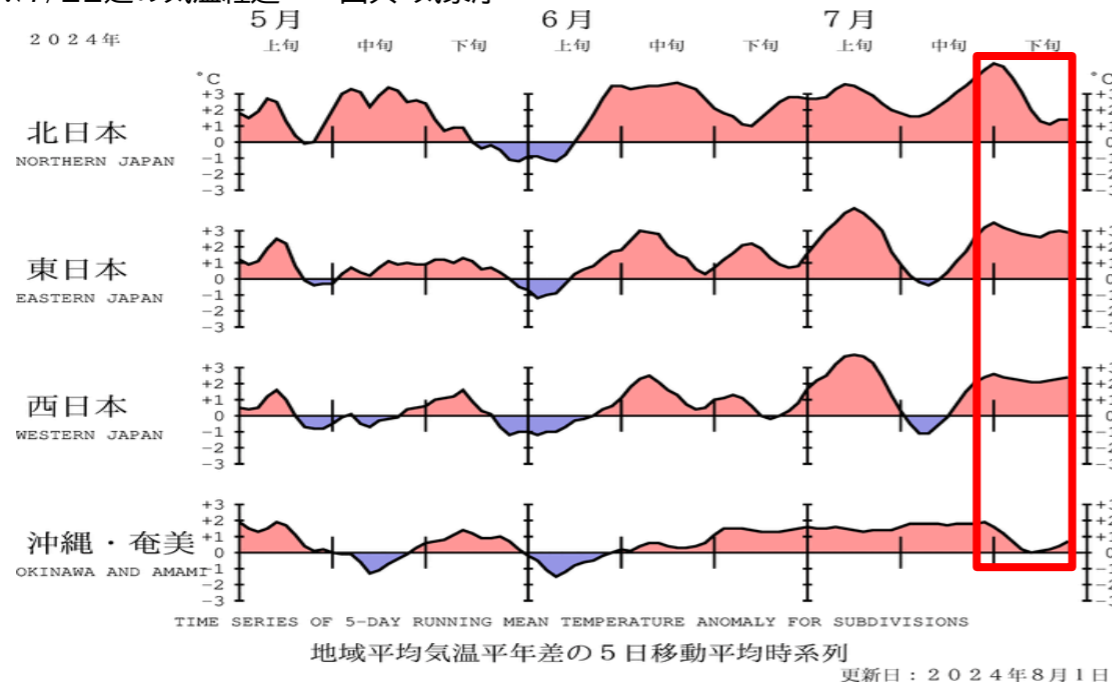
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-	7.15-	7.22-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	→	↘
大容量タイプ	→	→	↘	→	→	↘	→	→

- ↓ : 前年比90%未満
 ↘ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
 ↑ : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
 ↑ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※7/22週の気温経過 出典:気象庁



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」